



TITLE:

京大広報 No. 385

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

---

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 385. 京大広報 1990, 385: 861-866

ISSUE DATE:

1990-02-15

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209292>

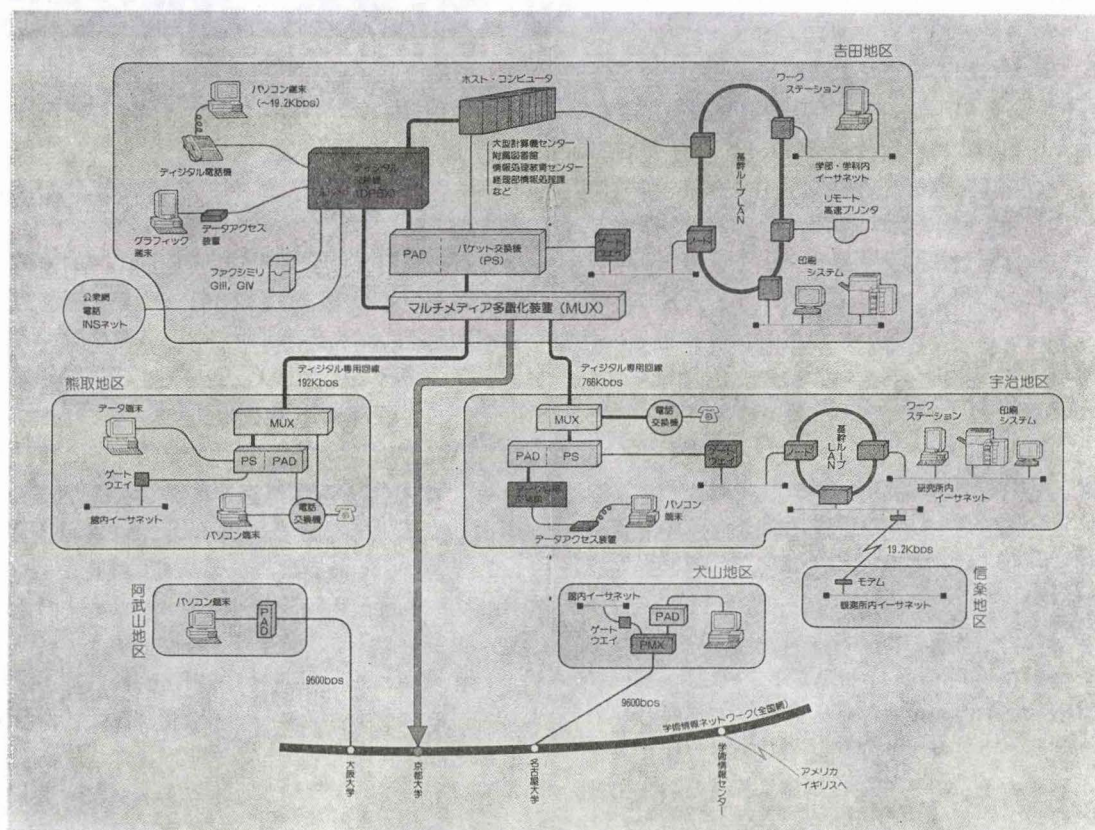
RIGHT:

ファイル中には未許諾による非表示部あり.

# 京大広報

No. 385

京都大学広報委員会



完成した京都大学統合情報通信システム (KUINS) の構成 一関連記事本文 862 ページ

## 目次

### <大学の動き>

京都大学統合情報通信システムが完成…………… 862

平成2年度入学選抜学力試験

第1段階選抜の結果…………… 863

平成2年度医療技術短期大学部

入学志願者状況…………… 864

<計 報>…………… 864

日 誌…………… 864

### <随想>

推進派と反対派の間

名誉教授 兵藤 知典…………… 865

### <コラム>

南半球のアサガオは右巻きか?

農学部教授 瀧本 敦…………… 866

写真集企画委員会からのお願…………… 866

## 〈大学の動き〉

京都大学統合情報通信システム  
が完成

京都大学統合情報通信システム (KUINS) は、第1期分として昭和62年度から3カ年計画で建設が進められてきたが、このほど主要な設備の完成をみた。これに伴い、去る1月20日(土) KUINS 完成記念披露式が挙行された。当日は、大型計算機センターにおいて、午前10時から学内外の来賓約160人の出席を得て式典が始まった。まず、KUINS 建設本部長である西島安則総長の式辞に始まり、文部大臣の祝辞代読等が続いて、副本部長である長尾 真大型計算機センター長がこれまでの経緯等を報告の後、システムの建設を担当した富士通株式会社及び都築電気工業株式会社に対し感謝状が贈呈された。

式典終了後、KUINS の利用例である祝賀メール(電子メール)、ネットワーク利用状況表示、遠隔講義、MU レーダー観測リアルタイムモニター、複数ホストへのアクセス、電子掲示板システム、図書館端末による利用、印刷システム、ISDN への対応としての手書き端末、G IV ファクシミリ等のデモンストレーション及び電話機の展示が行われた。

この後、午後1時から都ホテルにおいて祝賀会が行われた。はじめに西島総長の挨拶、続いて KUINS の実現に努力された西原 宏名誉教授の懐古談があり、林 良平名誉教授の乾杯により祝宴が始まった。終わりに長尾副本部長から、出席



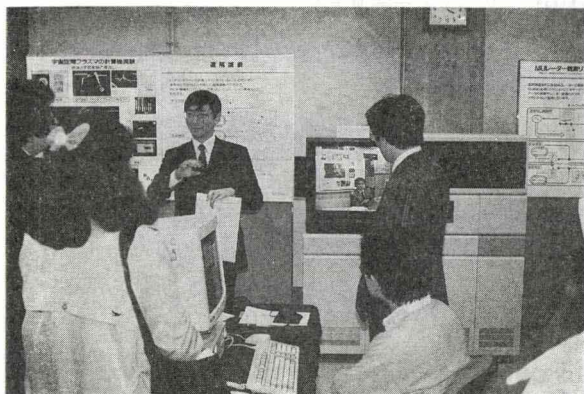
者・関係者に謝辞が述べられ、2時40分盛況裡に閉会した。

なお、この式典に先立ち19日(金)には午後1時から5時まで、システム・デモンストレーションの一般公開が行われ、またその間1時30分から約1時間、KUINS 建設本部情報担当主査の金澤正憲助教授による講演も行われ、多数の聴講者や見学者が訪れた。

ところで、KUINS 建設本部では、これまでパンフレットや KUINS ニュースを発行し、随時システムの内容、建設の進捗状況、取扱方法等を学内外に報知してきた。周知のとおり、KUINS は、デジタル交換機、パケット交換機とマルチメディア多重化装置、及び光ループ LAN の3本柱からなっている。デジタル交換機は、音声並びに中低速のデータ通信(64 Kbit/秒以下)を担っている。マルチメディア多重化装置は、吉田・宇治・熊取各地区をデジタル回線で結び、音声・ファクシミリ・データのような多様なメディアを効率良く伝送している。さらに、データ通信に関しては、パケット交換機により各地区を結ぶとともに、学術情報センターのネットワークと接続し、全国の大学のコンピュータとの相互通信を実現している。光ループ LAN は、高速のデータ通信(64 Kbit/秒以上)が可能となっている。

KUINS の各機器は、既に殆どが運用されているが、さらに全体的に調整を行い万全を図った上、新年度から本格的に運用されることになる。

(統合情報通信システム建設本部)





## 平成2年度入学者選抜学力試験第1段階選抜の結果

平成2年度入学者選抜学力試験の第1段階選抜が行われ、2月7日（水）、志願者に通知された。学部別の受験予定数は次表のとおりである。

また、第2次学力検査は同表に記載の試験場で行われる。最終合格者の発表は、3月9日（金）（前期日程試験）と3月23日（金）（後期日程試験）の午後3時に各学部ごとに行われる予定である。

学 部	日 程	募 集 人 員	受 験 予 定 数	第2次学力検査試験場
文 学 部	前 期	190	618	文・法・経済学部
	後 期	30	216	法・経済学部
教 育 学 部	前 期	40	145	教 養 部
	後 期	20	151	〃
法 学 部	前 期	340	1,030	関西文理学院
	後 期	60	521	法・経済学部
経 済 学 部	前期「一般」	150	526	法・経済学部
	〃 「論文」	60	270	〃
	後 期	40	257	〃
理 学 部	前 期	276	1,257	教 養 部
	後 期	30	1,346	〃
医 学 部	前 期	90	405	医 学 部
	後 期	10	199	〃
薬 学 部	前 期	60	174	薬 学 部
	後 期	20	145	〃
工 学 部	前 期	626	2,029	工 学 部
	後 期	414	2,740	〃
農 学 部	前 期	260	778	農 学 部
	後 期	65	550	〃
小 計	前 期	2,092	7,232	
	後 期	689	6,125	
合 計		2,781	13,357	

（注）法学部、経済学部（後期）の受験予定数には、「外国学校出身者のための選考試験」の第1次選考合格者の36名と18名が、それぞれ含まれている。

## 平成2年度医療技術短期大学部 入学志願者状況

平成2年度医療技術短期大学部入学者選抜試験は、3月4日（日）と5日（月）の両日に実施されるが、入学願書の受付が2月1日（木）から8日（木）まで行われた。

学科別の入学志願者数は、次表のとおりである。

学 科	募集人員	志願者数	倍 率
看 護 学 科	80 <sup>人</sup>	237 <sup>人</sup>	3.0
衛 生 技 術 学 科	40	278	7.0
理 学 療 法 学 科	20	144	7.2
作 業 療 法 学 科	20	77	3.9
計	160	736	4.6

（医療技術短期大学部）

## 前川 嘉一 名誉教授

本学名誉教授前川嘉一先生は、1月29日逝去された。享年67。

先生は、昭和22年京都帝国大学経済学部を卒業後、本学助手、講師、助教授を経て昭和44年経済学部教授に就任、同60年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を授与された。この間、50年1月から51年1月まで本学評議員、51年1月から52年1月まで経済学部長を歴任され、大学の管理運営に貢献された。

本学退官後は、京都薬科大学の教授を務められた。

先生の専門は社会政策学で、中でもイギリス労働組合史、労使関係史の研究において数多くの優れた研究業績を残された。主な著書に『イギリス労働組合主義の発展』、『高年労働と福祉システムの研究』、『*The Labour Administration and Trade Unionism in Japan*』等がある。また多年にわたり、社会政策学会幹事として学会の運営・発展に寄与される等、幅広く活躍された。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

（経済学部）

## 訃 報

### 兄玉 重太郎 文部技官

文部技官兄玉重太郎氏は、1月27日逝去された。享年57。

同氏は昭和34年本学農学部附属演習林に就職され、以降、芦生演習林では林道の開設、樹木の伐採、搬出作業に従事し、その技術は高く評価されてきた。また、本部試験地では樹木及び苗木の育成管理など、30年余りの永きにわたり、大学演習林業務一筋に尽力された。昭和55年には京都大学永年勤続者表彰（20年勤続）を受けられた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

（農学部附属演習林）

## 日 誌

（1990年1月1日～1月31日）

- 1月4日 新年名刺交換会
- 12日 アメリカ合衆国 Polytechnic 大学 Mark Green 教授来学、総長及び関係教官と懇談
- 13日～14日 大学入試センター試験
- 18日 総長、職員組合との交渉に出席
- 20日 京都大学統合情報通信システム完成記念披露式
- 23日 評議会
- 25日 アメリカ合衆国 Harvard 大学 Helen Vandler 教授来学、総長及び関係教官と懇談
- 29日 学位授与式
- 30日 総長、ワールド・エコノミック・フォーラム・ダボス会議出席並びに高等教育・研究機関の実情調査のため、スイス連邦を訪問（2月11日まで）



